平成26年度

	671		課	数本という	係	英 田 <i>传</i>	起案者	齋藤安幸
事業No	0/1		沐	教育センター	冰	管理係	決裁者	神尾壽明
事務事	業名	教育センター	·施設管理事	業		事業種別	施設管理	

1 事業概要

1 争耒概妛														
	4 個性	と文化で	を育む環境づく	IJ				算科目	1		一般会計			
	3 学校 2 義務	^孜 頁 教育					予算	科目(款	・項・目	∄)	50-5-35			
総合計画体系	19 上記#	施策以タ	トの施策 トの施策				総合	計画以	外の計画	<u> </u>				
		心水火	下仍他来				関連す	る総合	計画の放	色策				
							性質区分 特定の市民や団体を対象にしたもの							
根拠法令	有	安城市	教育センター説	置条例										
法定受託事務	無													
公約・議会答弁	無													
陳情・市民要望	無													
実施方法	一部	委託	委託先	民間企業		月連団(4	*							
実施期間	開始	平成06		経過				終了					間	
求める成果 (目的)	誰(受益	益者) が	教育センター系 談の保護者等)	川用者(教 が	₹職員及	び教育を	相	~15	なる	会場なる	の確保、	利用か	(確認	実にできるように
事務事業の内容	利用者の	の会場を	を確保し、確実(こ利用で	きるよう	う施設を	左維持 管	育理し、	提供し	ます	0			
改善・対策の履歴	• H25年 	会議室の受付電子化を開始した。 H25年度に施設利用者増策の検討を行った。												

2 事業費(千円)、人員推移(人)

	15 D	平成23年度	平成24年度	平成2	25年度	平成26年度
	項目	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
	総事業費	30, 650	39, 246	33, 238	27, 399	30, 584
	財源計	22, 271	30, 867	24, 859	19, 020	22, 205
	国庫支出金	0	0	0	0	0
財源の	県支出金	0	0	0	0	0
の	市債	0	0	0	0	0
内訳	その他()	104	95	0	0	0
	一般財源	22, 167	30, 772	24, 859	19, 020	22, 205
	受益者負担金	0	0	0	0	0
	職員人件費	8, 379	8, 379	8, 379	8, 379	8, 379
	(従事職員数)	(1. 33)	(1. 33)	(1. 33)	(1. 33)	(1. 33)
	人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3	各活動にかかる:	コスト	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	活動名	施設設備管理委託	見込	14. 00	14. 00	14. 00	14. 00
活動	(活動内容)		実績	14. 00	14. 00	14. 00	
到	指標名 (単位)	委託業務(業務)	活動の総事業費 (千円)	12, 323	12, 168	12, 149	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	880. 21	869. 14	867. 79	
	活動名	施設管理協会への委託	見込	1.00	1. 00	1.00	1. 00
活動	(活動内容)		実績	1.00	1. 00	1.00	
2	指標名 (単位)	委託業務(業務)	活動の総事業費 (千円)	5, 416	5, 641	5, 430	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	5, 416. 00	5, 641. 00	5, 430. 00	
	活動名	会場の提供	見込	800.00	800.00	800.00	800. 00
活動	(活動内容)		実績	814. 00	951.00	971.00	
3	指標名 (単位)	会場提供回数(回)	活動の総事業費 (千円)	6, 247	6, 017	6, 044	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	7. 67	6. 33	6. 22	

	指標	名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
퍖	施設利用人数(人)			目標	25, 000. 00	25, 000. 00	25, 000. 00	25, 000. 00
成果				実績	25, 413. 00	19, 655. 00	23, 796. 00	
1	目標達成年度	目標成果指標値	0. 00	達成状況	達成	未達成	未達成	
成	苦情件数(件)	-		目標	0.00	0.00	0. 00	0.00
果				実績	0.00	0.00	0. 00	
2	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

- ・貸出し時にかぎと報告書を受付で手渡しすることにより、利用者との連絡が円滑になりました。 ・積極的な声掛・あいさつにより、明るい雰囲気での利用向上を図っているため苦情は皆無でありました。

成果

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等

・玄関庇シーリング打替及び空調設備の修繕を行い施設維持を図りました。活動にかかった対前年度コストも減少となりま 活動コスト した。

・教育センターの回数は昨年度比102%、利用者数は121%と大きく伸びました。これは、教育センター施設の利用度アップに向けた広報効果によるものと考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案

・利用手続き及び利用申請用紙の様式を庁内ラン、アンサーバーで取得等できるようにし、申請、打合せにかかる省力、時間短 縮等により利用を推し進めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性

・本事業は、教育センターが教育の充実と振興を図るため設置され、そのために実施される4つの主な事業の提供場所となっています。これらの事業のより一層の目的向上のためには、不可欠な施設として安定的に継続的に実施される必要があります。 ・平成27年度からの教育委員会機能が円滑に行える体制を整える必要があります。

平成26年度

	672		課 教育センター		係	研究指導係	起案者	吉本敦
事業No	0/3	673		課 教育センダー		听 九佰等徐	決裁者	神尾壽明
事務事	業名	教職員研修事	業			事業種別	職員研修	

1 事業概要												
総合計画体系	3 学校教 2 義務教 1 確かを	教育 教育 な学力で	を育む環境づく を育む教育 かるための教員			予算和 総合	計画以外る総合記	項・目 トの計画 十画の施	,			
根拠法令	有	教育公	·務員特例法21条	全、22条		1270	_/3 1	110211111	ナカナス			
法定受託事務	無											
公約・議会答弁	無											
陳情・市民要望	無											
実施方法	直'	営	委託先									
実施期間	開始	昭和38	年度	経過	51年目		終了			期間		
求める成果 (目的)	誰(受益	者)が	小中学校の教師	戦員が、			~1=1		職責を十分果 <i>†</i>	こせるよ	うになる。	
事務事業の内容	題に応し座を実施	シた研修 色します		。また、	教職員が自ら都	教養を高	あめられ	るように	に自主的に参加	1できる遠	星択性の講	:
改善・対策の履歴	・若手を ・若動基で ・教育は 用に関す	牧職員 <i>0</i> 登研ター さる講座)資質向上を図 や「学校事務 日開設講座に若 を立ち上げま	るために 職員新 手教員に した。	、3年目までの 採用等研修」 役立つ「板書」	教職員· を行って や「学	や常勤課います います 校経営	。 」に関す	研修を充実さ [.] 「る講座、図書	せるとと	もに、「á blCT活	装護

2 事業費(千円)、人員推移(人)

TAX (11)	/				
16 B	平成23年度	平成24年度	平成2	25年度	平成26年度
垻 日	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	12, 422	12, 449	12, 466	12, 437	15, 774
財源計	263	290	307	278	339
国庫支出金	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0
その他()	0	0	0	0	0
一般財源	263	290	307	278	339
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費	·	· ·	· ·		15, 435 (2. 45)
人事課予算分	0	0	0	0	0
	項 目 総事業費 財源計 国庫支出金 県支出金 市債 その他() 一般財源	項目 平成23年度 (実績) 総事業費 12,422 財源計 263 国庫支出金 0 県支出金 0 市債 0 その他() 0 一般財源 263 受益者負担金 0 職員人件費 (従事職員数) 12,159 人事課予算分 0	項目 平成23年度 (実績) 平成24年度 (実績) 総事業費 12,422 12,449 財源計 263 290 国庫支出金 0 0 県支出金 0 0 市債 0 0 その他() 0 0 一般財源 263 290 受益者負担金 0 0 職員人件費 (従事職員数) 12,159 (1.93) 12,159 (1.93) 人事課予算分 0	項目 平成23年度 平成24年度 平成2 総事業費 12,422 12,449 12,466 財源計 263 290 307 国庫支出金 0 0 0 環支出金 0 0 0 その他() 0 0 0 一般財源 263 290 307 受益者負担金 0 0 0 職員人件費 (従事職員数) 12,159 12,159 12,159 (1.93) (1.93) (1.93) (1.93)	項目 (実績) (実績) (予算) (実績) 総事業費 12,422 12,449 12,466 12,437 財源計 263 290 307 278 国庫支出金 0 0 0 0 県支出金 0 0 0 0 市債 0 0 0 0 その他() 0 0 0 0 一般財源 263 290 307 278 受益者負担金 0 0 0 0 職員人件費 12,159 12,159 12,159 12,159 (従事職員数) (1,93) (1,93) (1,93) (1,93)

3	各活動にかかる:	コスト	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	活動名	教職員研修	見込	1, 100. 00	1, 100. 00	1, 100. 00	1, 200. 00
活動	(活動内容)		実績	1, 140. 00	1, 193. 00	1, 263. 00	
1	指標名 (単位)	受講者数(人)	活動の総事業費 (千円)	8, 179	8, 210	8, 206	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	7. 17	6. 88	6. 50	
	活動名	教育センター開設講座	見込	700.00	700. 00	500. 00	550. 00
活動	(活動内容)		実績	672. 00	515. 00	695. 00	
2	指標名 (単位)	参加人数(人)	活動の総事業費 (千円)	4, 243	4, 239	4, 231	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	6. 31	8. 23	6. 09	
	活動名		見込				
活動	(活動内容)		実績				
3	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)				

	指標	名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
륪	受講率(出席者/受講希望者	音)(%)		目標	90. 00	90. 00	90. 00	90. 00
成果				実績	91.00	91.00	92. 00	
1	目標達成年度	目標成果指標値	0. 00	達成状況	達成	達成	達成	
成				目標				
成果の				実績				
2	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果

プコスト

- ・事前に課題を知らせ、実践レポートをもとにした研修を行うことで、日々の実践を意識した研修になりました。 ・参加希望者が多い場合は、講座を2回に分けるなど、ニーズに沿った対応に努めています。 ・「特別支援コーディネーター研修」では、関係医療機関と連携して研修を深めました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等

・研修や講座の講師を市内校長をはじめとする内部職員が多く務めることにより、経費の節減を図っています。

・コンピュータ関連講座では、個別のニーズに合わせた配慮が必要です。・課題研修などで研修日だけの研修にならないようにしていますが、まだ「研修者への支援」という観点からは工夫の余

・今日的課題に対応するために、地域の医療機関とも連携し「エピペン研修」を立ち上げました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案

・研修者 (講座希望者) が抱いている悩みや疑問に答えるような内容および体制もさらに考慮し、それぞれの問題意識に対する対応ができる研修 (講座) にしていきたいと思います。 ・子どもたちへのより適切な支援ができるように、時代のニーズに合った研修や学校現場が必要とする研修の立ち上げを考えます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性

・児童生徒や退職教員の増加に伴って増える新規採用者に対応したり、通常学級における特別支援が必要な児童生徒へ対応したり、外国人児童生徒の受入れ体制の整備のために、研修や講座のよりいっそうの充実を図ります。

平成26年度

	674		-00	お 本 に 、 カ	係	TT 中 化 送 <i>医</i>	起案者	稲垣剛
事業No 674			課 教育センタ		冰	研究指導係	決裁者	神尾壽明
事務事	業名	教育に関する	調査研究事	業		事業種別	市民サービ	z

1 事業概要

1 事業概要													
			を育む環境づく	Ŋ		予	算科目	(会計)		一般会計	=		
	3 学校 2 義務	叙育 数音				予算	科目(款	・項・目	∄) :	50-5-35			
総合計画体系	3 安全	で快適な	文教育環境			総合	計画以	外の計画	可				
	2 快適	は塚現っ	2 ()			関連す	る総合	計画の旅	を策	4-3-2-3-	-2		
						性質	区分	市の内部	邻事務	事業			
根拠法令	無					•							
法定受託事務	無												
公約·議会答弁	無												
陳情・市民要望	無												
実施方法	一部	 委託	委託先										
実施期間	開始	昭和38	年度	経 過	51年目		終了				期間		
			小中学校の教職	貴が					より	よい指導	法の開発	や授業づく	りにつ
求める成果	誰(受益	益者) が					~15	なる	CV-C	研究する	ことがで	さる	
(目的)													
	(1) + 1/L =	モルヴァ	TO 3 15 0 15 15	レフザムナ	TITE	\$ \\$ 7π σό ο 4	+ - <i>D</i>	N 7 11 12 14	<i>i</i> – –	7 /EI I TTI	₩ @☆→:	TITE 0 15" 11	
	プによる	安恒疋収 る自主的	研究7種8班に。 りな研究活動④タ	トる教育 教育研究	研究②教員》 に論文の募集の	(追研究) 研究紀	生/石の要の発行	り研究生 〒⑥研究:	による 報告i	る個人研: 書の発行	先③日土1	研究 8 クルー	-
事務事業の内容													
	指定研究	究は、生	 度ごとに研究	内容の検	討をしている)							
改善・対策の履歴	H25年度	. 教師	力向上支援、校	務支援:	ノフト運用を	研究しま	した。						
小羊 公体の房田	In24年及 H23年度	. 防火及び24	・艮目で明五し 年度:校務支援	エ した。 ソフト	舌用を研究し	ました。							
以音・刈束の復定	H20年度	:情報	教育研究を新設 技術教育研究を	しました	た。 ± 1 <i>t</i> -								
	川ッサ及	. 17-1	以門我用別九で	利取しる	ナレた。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

	于不具(11)					
	項目	平成23年度	平成24年度	平成2	25年度	平成26年度
	垻 口	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
	総事業費	8, 096	8, 011	9, 404	8, 905	9, 190
	財源計	2, 111	2, 026	3, 419	2, 920	2, 197
	国庫支出金	0	0	0	0	0
財源の	県支出金	0	0	0	0	0
の	市債	0	0	0	0	0
内訳	その他()	0	0	0	0	0
	一般財源	2, 111	2, 026	3, 419	2, 920	2, 197
	受益者負担金	0	0	0	0	0
	職員人件費	5, 985		5, 985	5, 985	· ·
	(従事職員数)	(0. 95)	(0. 95)	(0. 95)	(0. 95)	(1. 11)
	人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3	各活動にかかる:	コスト	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	活動名	情報教育支援	見込	0.00	0. 00	0.00	0. 00
活動	(活動内容)		実績	0. 00	0.00	0. 00	
判 1	指標名 (単位)	派遣時間(時間)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
	活動名	市教委指定研究	見込	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00
活動	(活動内容)		実績	2. 00	2. 00	2. 00	
2	指標名 (単位)	研究報告書数(冊)	活動の総事業費 (千円)	2, 559	2, 551	2, 513	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	1, 279. 50	1, 275. 50	1, 256. 50	
	活動名	研究紀要の作成	見込	300.00	300.00	300.00	300. 00
活動	(活動内容)		実績	300.00	300.00	300.00	
3	指標名 (単位)	/¥ /L\	活動の総事業費 (千円)	1, 493	1, 488	1, 478	
			活動にかかるコスト (千円)	4. 98	4. 96	4. 93	

	指標	名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
盛	研究紀要個人購読数(冊)			目標	80. 00	80. 00	80. 00	80. 00
巢				実績	100.00	89. 00	79. 00	
1	目標達成年度	目標成果指標値	0. 00	達成状況	達成	達成	未達成	
成		-		目標				
成果				実績				
2	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

安城市教育情報ネットのアンサーバー内に研究成果を掲載して、小中学校の教職員には、いつでも閲覧・活用ができるようにした。そのことにより多くの教職員に多くの情報を共有することができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等

研究論文の原稿は、教員に貸与されたパソコンソフトで作成することによって、経費の削減を図っています。 プコスト

・研究紀要の業者選定を競争入札に改めたことによって、1冊当りの単価が安価になり経費の削減に繋がりました。 ・個人購読数は、前年度比10ポイント減で未達成であったように、報告書等の内容が、購読に見合うだけの活用がされてい るとはいえないのが課題です。 ・購読数の増減には、購買広報の方法にも影響を及ぼしていることも一因です。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案

- ・安城市教育情報ネットのアンサーバーの充実を図るため、調査研究を進めます。 ・教職員へのPRや研究を重ね、その成果の活用を進めます。 ・研究紀要の購買広報に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性

安城市教育の課題に対する対策を独自に研究することにより、学校教育の充実を継続的に図りま す。

平成26年度

事業No	675		譚	課 教育センター	係	研究指導係		酒井多香子
尹未N0	070		IV.	WH CON		別が日子小	決裁者	神尾壽明
事務事業名		 教育相談事業 	:			事業種別	市民サービ	z.

1 事業概要

1 事業概要													
			を育む環境づく	Ŋ		予	算科目	(会計)		一般会計			
	3 学校2	教育 教育				予算和	4目(彰	・項・	目)	50-5-35			
総合計画体系	2 豊か	な心とが	とくましい体を	育む教育		総合	総合計画以外の計画						
	3 相談 	古期				関連す	関連する総合計画の施策						
						性質	性質区分市の内部事務事業						
根拠法令	無					•							
法定受託事務	無												
公約·議会答弁	7/10												
陳情・市民要望	無												
実施方法	直	 営	委託先										
実施期間	開始	平成10)年度	経 過	16年目		終了				期間		
求める成果 (目的)	める成果 ※(四六字)が			で困って	いる市民	(教職	~1:	こなる	気軽	に相談でき	きるよう	になります	0
事務事業の内容	児童生4 民(保記	走の教育 獲者等)	育相談・遊戯療 の要望に応じ の要望に応じ	法・集団 た幅広い	適応指導: 相談活動:	を行うことだ を行います。	こより、	、人格の	成熟	を図ると共	に、教耶	戦員・市 ・市	
改善・対策の履歴	・教職員や市民・保護者の相談に応じられるようた。 (H16=1,120h⇒H21=3,136h H22=3,394h H23=3,4 ・電話相談増加の対応と併せ、適応指導教室の通度に3名から4名に増員し、また、適応指導教室の 度に3名から4名に増員し、また、適応指導教室に ・臨床心理士が全市の幼保を訪問し、幼保小の遅 ・25年度より適応指導教室に学生ボランティアを					1706 1104-0	4001- 1	105-1 00	 		m = 1-14	<u> </u>	

2 事業費(千円)、人員推移(人)

	45 D	平成23年度	平成24年度	平成2	25年度	平成26年度
	項目	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
	総事業費	45, 083	45, 064	36, 887	36, 815	44, 988
	財源計	16, 607	16, 588	8, 411	8, 339	8, 448
	国庫支出金	0	0	0	0	0
財源の	県支出金	0	0	0	0	0
の	市債	0	0	0	0	0
内訳	その他()	0	0	0	0	0
	一般財源	16, 607	16, 588	8, 411	8, 339	8, 448
	受益者負担金	0	0	0	0	0
	職員人件費	28, 476	28, 476	28, 476	28, 476	36, 540
	(従事職員数)	(4. 52)	(4. 52)	(4. 52)	(4. 52)	(5. 80)
	人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3	各活動にかかる:	コスト	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	活動名	相談活動(電話相談、来 所相談)	見込	950. 00	950. 00	950. 00	950. 00
活動	(活動内容)	所怕談/	実績	1, 146. 00	1, 342. 00	1, 477. 00	
判 1	指標名 (単位)	相談件数(件)	活動の総事業費 (千円)	12, 978	12, 978	12, 978	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	11. 32	9. 67	8. 79	
	活動名	ふれあい学級	見込	30. 00	30. 00	30. 00	30. 00
活動	(活動内容)		実績	69.00	60. 00	0.00	
2	指標名 (単位)	学校へ戻った生徒の割	活動の総事業費 (千円)	15, 168	15, 293	15, 422	
	(単位)	合 (%)	活動にかかるコスト (千円)	219. 83	254. 88	0.00	
	活動名	臨床心理士によるふれあ	見込	2, 450. 00	2, 450. 00	2, 450. 00	2, 450. 00
适	(活動内容)	い相談	実績	2, 618. 00	2, 514. 00	2, 376. 00	
動3	指標名	指標名 相談件数(件) (単位)	活動の総事業費 (千円)	12, 960	12, 850	7, 089	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	4. 95	5. 11	2. 98	

	指標	名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
퍖	総合計画策定進捗率 臨床心値) / 臨床心理士の常駐時間	›理士の常駐時間(実	ミ績	目標	100.00	100.00	100. 00	100.00
成果		(日保恒)(90)		実績	100.00	100.00	100.00	
1	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成	ふれあい相談稼働率 ふれあい相談見込み件数(%)	目標	83. 00	83. 00	83. 00	83. 00		
果	「竹田談兄込み什数(%)			実績	99. 00	99. 00	99. 00	
2	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果

プコスト

成果

- ・相談によって子どもの問題が改善されたという教師や保護者からの声が聞かれました。 ・市民(保護者)等の関心の高さから相談件数の増加が顕著です。特に来所相談の増加が著しく、対応できなくなってきたため事前予約制にするなどその対応に苦慮しています。

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等

平成19年度より小中学校にスクールカウンセラーが配置されましたので、先生方がセンターに相談しなくてもよいことも あり、電話や来所相談が一時減少しましたが、保護者等の関心の高まりとあいまって相談件数も増加しています。そっ て、その対応に臨床心理士の常駐時間も増やしていますのでコストは増加しています。

教師や一般市民(保護者等)の発達障害への理解が進み、相談する人が増えました。学校訪問や園への就学訪問により、ふれあい相談や就学相談につながったケースも多くあります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案

- ・臨床心理士の相談時間数を増やしたり、訪問相談を実施したことで、気軽に相談できるようになったことについて、情宣にも努めていきたいと思います。 ・一方、スクールカウンセラーと当センターの臨床心理士との賃金格差が大きなネックとなり、臨床心理士の定着があやぶまれてきていますので、この格差縮小を図り臨床心理士の定着に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性

- ・子どもの問題のさらなる改善のためにも親子並行面接がより多くできるようにする。 ・保護者のニーズに応えるために、早朝(9:00~)や夕方(5:00~6:00)にも相談できるようにす
- る。

平成26年度

事業No	677		課 教育センター	係	研究指導係		吉本敦	
尹未N0	077	I III		教育ピング	DK.	则 九 1 日 守	決裁者	神尾壽明
事務事業名		中小体連事業	[事業種別	企画・計画領	策定

1 事業概要

1 事業概要												
総合計画体系	3 学校 2 義務 9 上記	教育 教育 施策以タ	を育む環境づく 外の施策 外の施策	Ŋ		予算:	科目(制 計画以 る総合	(会計) マ・項・ 以外の計画の加 計画の加	目) [画 施策	一般会計 50-5-35 事業		
根拠法令	無					127	— //	11102111	HP 7- 17	**		
法定受託事務	無											
公約·議会答弁	無											
陳情・市民要望	無											
実施方法	直	<u></u>	委託先									
実施期間	開始	昭和43	年度	経 過	46年目		終了				期間	
求める成果 (目的)	誰(受益	益者) が	児童生徒が				~15	なる	体力	を増強し、	競技力	を向上します。
事務事業の内容	学校体育上を図る	育および る。	『各種競技に関 っ	する研究	、講習、競技	支会の開作	崔によ ^り	り、児童	生徒の)体力向上	および意	竞技力向
改善・対策の履歴	ズを得る	内容につました。	ついて大会ごと	こ各校お	よび競技運営	営関係者(こ調査を	あるいは	意見耶	物を行い	、より研	生かなニー

2 事業費(千円)、人員推移(人)

	16 D	平成23年度	平成24年度	平成2	25年度	平成26年度
	項目	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
	総事業費	4, 785	4, 883	4, 890	4, 890	4, 890
	財源計	2, 895	2, 993	3, 000	3, 000	3, 000
	国庫支出金	0	0	0	0	0
財源の	県支出金	0	0	0	0	0
の	市債	0	0	0	0	0
内訳	その他()	0	0	0	0	0
	一般財源	2, 895	2, 993	3, 000	3, 000	3, 000
	受益者負担金	0	0	0	0	0
	職員人件費 (従事職員数)	1, 890 (0. 30)				
	人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3	各活動にかかる:	コスト	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	活動名	主催大会の実施	見込	0.00	100.00	100.00	100. 00
活動	(活動内容)		実績	104.00	98. 00	117. 00	
到 1	指標名 (単位)	外部審判員の招聘(人)	活動の総事業費 (千円)	4, 785	4, 883	4, 890	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	46. 01	49. 83	41. 79	
	活動名 (活動内容)		見込				
活動			実績				
2	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)				
	活動名		見込				
活	(活動内容)		実績				
活動3	指標名	指標名 (単位)	活動の総事業費 (千円)				
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	·			

	指標	名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
БÜ	競技力向上のため、外部審判	削員を招聘した(人)	目標	100.00	100. 00	100.00	100.00
成果				実績	104.00	98. 00	96. 00	
1	目標達成年度	目標成果指標値	0. 00	達成状況	達成	未達成	未達成	
成				目標				
成果の				実績				
2	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況	·			

5 成果1、2以外の成果

・外部審判員から、児童生徒をどう理解し、どう言葉かけをすればよいのかを学ぶことができ、青少年健全育成に役立つと の声を複数いただきました。

成果

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等

・大会時に公認審判員を招聘することにより、別途審判講習会を設けて費用をかけなくてもよかった。

活動コスト

・大会時に公認審判員を招聘することにより、別途審判講習会を設けて費用をかけなくても、各校の顧問や児童生徒がルールやマナーなどを学ぶことができました。 ・児童生徒の負担増とならないよう競技時間を工夫することにより、延長もなく、市の施設利用料予算内で終えることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案

・大会時に公認審判員を積極的に招聘し、大会を審判実技講習会と兼ねることにより、合理化とともに児童生徒の競技力向 上を図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性

児童生徒が、安心・安全に競技に臨めるよう、運営方法の改善など共通理解を図り、看護師派遣・救 護物品の充実など万全を期します。

平成26年度

	676		課	教育センター	係	研究指導係	起案者	稲垣剛
事業No	070		12本	教育センダー	त्ररा	训九 拍导床	決裁者	神尾壽明
事務事業名		教育情報活用	事業			事業種別	市民サービ	z

1 事業概要

1 事業概要															
			を育む環境づく	IJ		予	算科目	(会計)		一般会	計				
	3 学校 2 義務					予算和	4目(款	・項・	目)	50-5-3	35				
総合計画体系	3 安全	で快適な	な教育環境			総合	計画以	外の計画	画						
	3 情報(比へのタ	讨心			関連す	る総合	計画の	施策	4-3-2-	-3-3				
						性質	医分	市の内部	部事務	事業					
根拠法令	無														
法定受託事務	無														
公約·議会答弁	無														
陳情・市民要望	無														
実施方法	直	<u></u> 営	委託先												
実施期間	開始	平成06	年度	経 過	20年目		終了					期間			
求める成果 (目的)	誰(受益		小中学校の教職					こなる	報を 	手に入	れ活		るよう	になる	
事務事業の内容	①学識者 か材などの かけなどの かけい は で が は で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	者 学 や も な 情 で に で に で に で に で え に で え で え で れ で れ で れ で に う に う に る に る に る に る に る に る に る に る	・ 関係者からなっ Pになっているっ E定期的に流する Eに見して、情報の 「子どもとのふれ	るデータから デなと交換に かあい かあい も	審査委員会を を を を を を を を は の を は の を に の を に の を に の を に の を に り の の の の の の の の の の の の の の の の の の	開て効ま図 さら情報 さらますります。	育セ: で で で で で で を 移 で で で で で で で で で う で う で う で う で う で	ンタ 意見 一のを 見 受 表 受 表 受 表 受 表 受 表 受 表 受 表 受 表 受 表 受	ホール 基ます。	ムペー 改善を ③ う う う う う う う に	ジ図城よります。	内容が過 ます。② 教育情報 先生プ	動切で 動新規! 最ネッ 5の事	ある類片やア務作業	
改善・対策の履歴	るよう! ・校務3	こ改善し 支援ソフ	目作教材ビデオ ^が しました。(H19 フトをH24年度に ご研究し改善を『	年度、2 は全小5	10年度) 中学校に導入し										

2 事業費(千円)、人員推移(人)

	項目	平成23年度	平成24年度	平成2	25年度	平成26年度
	場日	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
	総事業費	47, 494	61, 128	27, 218	27, 463	61, 234
	財源計	41, 761	55, 395	21, 485	21, 730	55, 249
	国庫支出金	0	0	0	0	0
財源	県支出金	0	0	0	0	0
の	市債	0	0	0	0	0
内訳	その他()	0	0	0	0	0
	一般財源	41, 761	55, 395	21, 485	21, 730	55, 249
	受益者負担金	0	0	0	0	0
	職員人件費	5, 733	5, 733	5, 733	5, 733	5, 985
	(従事職員数)	(0. 91)	(0. 91)	(0. 91)	(0.91)	(0. 95)
	人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3	各活動にかかる:	コスト	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	活動名	アンサーバーの活用	見込	300.00	300.00	400.00	400. 00
活動	(活動内容)		実績	300.00	350. 00	350. 00	
到 1	指標名 (単位)	活用人数(人)	活動の総事業費 (千円)	945	945	1, 701	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	3. 15	2. 70	4. 86	
	活動名	データ審査委員会の実施	見込	1.00	1. 00	1.00	1. 00
活動	(活動内容)		実績	1.00	1. 00	1.00	
2	指標名 (単位)	会合回数(回)	活動の総事業費 (千円)	69	69	1, 833	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	69.00	69. 00	1, 833. 00	
	活動名	情報教育支援	見込	2, 000. 00	2, 000. 00	2, 000. 00	2, 000. 00
活動	(活動内容)		実績	2, 030. 00	2, 030. 00	2, 030. 00	
3	指標名 (単位)	派遣時間(時間)	活動の総事業費 (千円)	10, 395	11, 025	23, 929	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	5. 12	5. 43	11. 79	

	指標	名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
盛	アンサーバーの文書数(ファ	イル)		目標	4, 100. 00	4, 500. 00	4, 500. 00	5, 500. 00
巢				実績	4, 297. 00	4, 311. 00	5, 470. 00	
1	目標達成年度	目標成果指標値	0. 00	達成状況	達成	未達成	達成	
成				目標				
成果の				実績				
2	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

- 新規購入教材情報は、年間3回全員に配信されました。校務支援ソフト(全小中学校)の導入により、児童生徒との対話時間が増えてます。

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等

・適切な指摘がいただけるデータ審査委員会は、コストパフォーマンスが高いと考えます。

プコスト

・アンサーバーやメールでの情報交換が可能になったことにより、校内での教員同士の連絡時間や校外の連絡会が減り、教職員の負担が軽減しました。また、今までの紙ベース(FAX)の送付から電子データ(メール)の送付となり経費の軽減につながっています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案

- ・安城市教育情報ネットの活用をよりいっそう進め、市内教員の教育財産の共有化を図ります。 ・児童生徒の教育活動の充実を図るための、教職員の事務軽減支援策について進めていく必要があります。 (※平成23年度は全中学校に導入し、平成24年度に全小学校に導入しました。)

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性

教職員の多忙化解消の一つの方策として、今後の活用について研究を深めます。 (校務支援ソフトの運用方法等について、よりいっそう研究を進めます。)

平成26年度

	678		課数育センター		係	研究指導係	起案者	酒井多香子
事業No	076		邧	教育センダー 味		听 九佰等徐	決裁者	神尾壽明
事務事	業名	講演会事業				事業種別	企画・計画領	策定

1 事業概要

1 事業概要												
	4 個性	と文化を	を育む環境づく	IJ		予	算科目	(会計)	_	般会計		
	3 学校 2 義務	叙育 数音				予算和	科目(款	・項・目	■) 50	-5-35		
総合計画体系	9 上記	施策以タ	トの施策			総合	計画以	外の計画	画			
	9 上記)	他策以死	トの施策			関連す	る総合	計画の旅	を策			
						性質	区分	市の内部	部事務事	業		
根拠法令	無					•						
法定受託事務	無											
公約·議会答弁	無											
陳情・市民要望	無											
実施方法	直	<u></u>	委託先									
実施期間	開始	平成17	年度	経 過	9年目		終了				期間	
求める成果 (目的)	誰(受益	益者)が	保護者や教職員	動が			~15	なる	子育て ができ		対育のポー	イントを学ぶこと
事務事業の内容	子育でも	や学校教	対育について、 {	保護者や	教職員の関心	の高さ	こ応 じ ナ	ミテーマ	を設定し	し、講演	会を実施	i します。
改善・対策の履歴	員の二- 	- ま、毎ロ - ズに M	回、講演会後に なえる演題選定(アンケー こ努めて	ト調査を行っ います。	のて、現在	主抱える	5課題・	悩みなる	どのより	確かな係	≣護者・教職

2 事業費(千円)、人員推移(人)

	4 0	平成23年度	平成24年度	平成2	25年度	平成26年度
	項目	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
	総事業費	2, 936	2, 925	2, 935	2, 927	2, 935
	財源計	290	279	289	281	289
	国庫支出金	0	0	0	0	0
財源の	県支出金	0	0	0	0	0
の	市債	0	0	0	0	0
内訳	その他()	14	5	3	0	3
	一般財源	276	274	286	281	286
	受益者負担金	0	0	3	0	3
	職員人件費 (従事職員数)	2, 646 (0. 42)				
	人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3	各活動にかかる:	コスト	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	活動名 (活動内容)	講演会の開催	見込	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00
活動	(活動内容)		実績	2. 00	2. 00	2. 00	
1	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2, 936	2, 925	2, 927	
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)	1, 468. 00	1, 462. 50	1, 463. 50	
	活動名		見込				
活動	(活動内容)		実績				
2	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
	(単位)		活動にかかるコスト (千円)				
	活動名 (活動内容)		見込				
活動3	(活動内容)		実績				
3	指標名		活動の総事業費 (千円)				
	指標名 (単位)		活動にかかるコスト (千円)	·			

	指標名	名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
퍖	受講者数(人)			目標	350. 00	350. 00	350. 00	350. 00
成果				実績	590.00	403. 00	530. 00	
1	目標達成年度	目標成果指標值	0. 00	達成状況	達成	達成	達成	
成				目標				
成果				実績				
2	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果

- ・講演会では毎回感想を提出いただいて、次回講演会のテーマ選定に参考としています。 ・演題の内容面に不満を示す声はありませんでした。 ・開催時期や講師候補に関する意見もあります。次年度計画の参考にしています。

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等

魅力あるテーマによる講演会の実施により聴講者人数が増加しています。特にいじめや不登校における家庭教育講演会は、顕著に関心の高さが伺えます。 プコスト

・講演会では、事前の託児受付のPRを図って参加しやすい環境を整えています。また、講演会の会場以外の部屋でもモニターテレビにて視聴できるようにしているこkとが、魅力あるテーマや名高い講師以外にも、聴講人数の増加につながっていることの一因と思われます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案

・講演会では、従前のように、毎回参加者の感想を求めて、そのニーズを生かすよう事業の充実を引き続き図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性 ・より確かなニーズを得ながら、講師・テーマを設定し、受講希望者の増加を図ります。 維持・継続